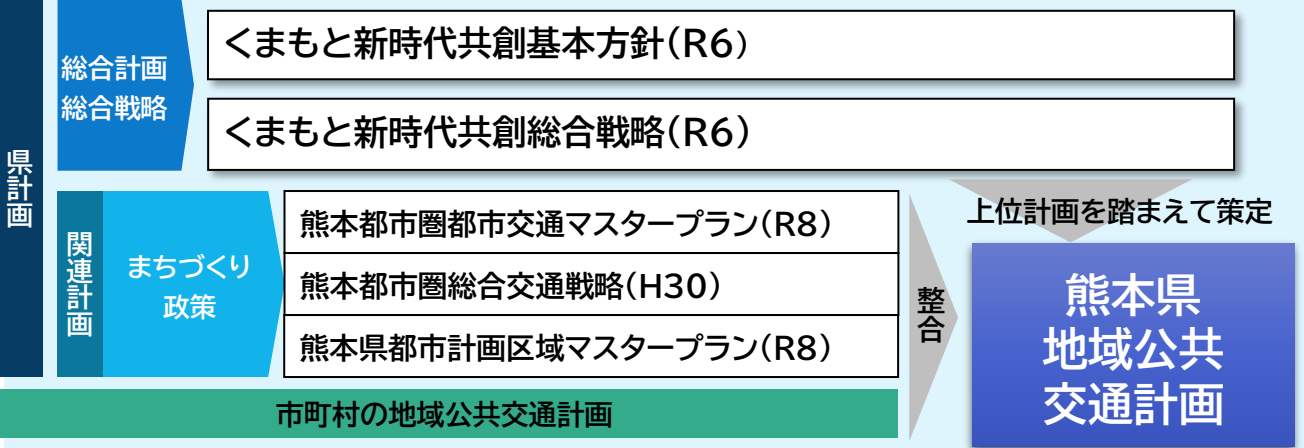


計画の位置付け



対象地域

熊本県全域  
※県域をまたいで運行する鉄道、路線バス等については関連する県と連携。

計画期間

令和8年4月～令和13年3月(5年間)

将来の地域社会のビジョンと目指す公共交通網の姿  
～「くまもと新時代共創基本方針・総合戦略」との関係～

①こどもたちが  
笑顔で育つ  
熊本

②世界に開かれた  
活力あふれる  
熊本

③いつまでも続く  
豊かな  
熊本

目指す将来像

交通の利便性・持続可能性を高め、誰一人取り残されず、マイカーに頼らずに、行きたいときに、行きたいところへ不自由なくアクセスできる社会

計画の目標 ～10年後「公共交通2倍」&「交通空白地ゼロ」を達成するサービス水準の実現～

①都市圏幹線

熊本市中心市街地から放射8方向への基幹公共交通軸(幹線8方面)を運行する、拠点間の1日当たり輸送量が150人以上(鉄道の場合は輸送密度概ね2,000人以上)の路線バスや鉄軌道

数値指標		目標(令和6年度比)	設定の考え方
都市圏幹線の 運行水準	路線バス	実車(列車)走行キロ <b>合計1.3倍以上</b>	10年後の公共交通2倍に向け、 方面ごとに現状維持～1.5倍の サービス水準
	鉄軌道		

②地域幹線

県内の拠点間を運行する、方面別の1日当たり輸送量が15人以上150人未満(鉄道の場合は輸送密度概ね2,000人未満)の路線バスや鉄道

数値指標		目標(令和6年度比)	設定の考え方
地域幹線の 運行水準	路線バス	実車(列車)走行キロ <b>合計1.3倍以上</b>	10年後の公共交通2倍に向け、 方面ごとに1.3倍以上の サービス水準
	鉄道		

③コミュニティ交通

輸送量15人未満の路線をはじめとする、行政、地域、交通事業者等が連携の上、適切な車両サイズや交通モードで運行する有償運行

数値指標		目標	設定の考え方
コミュニティ 交通の 運行水準	路線定期 運行	<b>60分以内</b> で 公共交通にアクセス可能 なサービス水準を確保	10年後の各市町村の「交通 空白地の数:0」に向け、公共交通を 利用して複数パターンでの移動が 可能な運行内容・サービス水準
	区域運行		

3類型の公共交通ネットワーク イメージ

